

LM・ブラジル高配当株ファンド(毎月分配型)

第69期決算分配金の引き下げについて

平素より『LM・ブラジル高配当株ファンド(毎月分配型)』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは2016年10月24日に第69期決算を迎えました。当期の分配金(1万口当たり、税引前、以下同じ。)につきましては、以下の通り、40円から20円引き下げ、20円と致しましたことをご報告申し上げます。

第69期の分配金(1万口当たり、税引前) 20円

今回の見直しは、市況動向の変化から分配対象額*が減少傾向にあり、基準価額が4,000円を下回って推移していることなどを総合的に勘案した結果によるものです。分配金を抑えることにより、安定した分配を今後も継続するとともに、信託財産の成長を目指します。

今後ともファンドの運用にあたっては、パフォーマンスの向上を目指してまいりますので、引き続きお引き立て賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

* 分配対象額：繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含む)等の全額

設定来の基準価額および分配金の推移

(2011年1月24日～2016年10月21日)



(設定来)分配金累計額:4,800円(1万口当たり、税引前)

※分配金および分配金累計額は2016年10月24日時点。※運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。※上記グラフは、過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。基準価額は信託報酬控除後のものです。※基準価額(分配金込み)は、税引前分配金を再投資(複利運用)したと仮定して、委託会社が算出したものです。

年初来の基準価額の変動要因

(2015年12月30日～2016年10月21日)

基準価額(2015/12/30)	3,110 円	
基準価額(2016/10/21)	3,828 円	
基準価額変動	718 円	23.1%
変動内訳	寄与度	
株式要因	899 円	28.9%
為替要因等	231 円	7.4%
信託報酬	▲52 円	▲1.7%
分配金	▲360 円	▲11.6%

ブラジル・ボブスバ指数

2015/12/29	43,654
2016/10/20	63,838
騰落率	46.2%

為替レート(ブラジル・リアル/円)

2015/12/30	31.18
2016/10/21	33.14
騰落率	6.3%

(出所)ブルームバーグ、一般社団法人 投資信託協会
 ※基準価額変動の騰落率は、変動内訳の寄与度を四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。
 ※当日の基準価額算出に用いられる株式価格は、前日の海外市場の終値が適用されます。海外市場の株価指数において日本の営業日に応答する海外市場が休日の場合、その前日の指数を提示しています。為替は当日のレートが適用されます。

【よくあるご質問】

Q1 なぜ分配金を40円から20円に引き下げたのですか？

A1 市況動向や基準価額の水準などを勘案した結果、分配金を引き下げ、その差額をファンドの純資産に留保することで、安定的な分配の継続と信託財産の成長を目指すためです。

当ファンドの分配金額は、分配方針に基づき市況動向や基準価額の水準などを勘案して決定されます。各期の分配にあたっては、主に期中の配当等収益に加え、過去の収益(評価益を含む売買益)等の一部を分配金に充てています。

今決算において分配金額を40円から20円へ引き下げた主な要因として、以下の点があげられます。

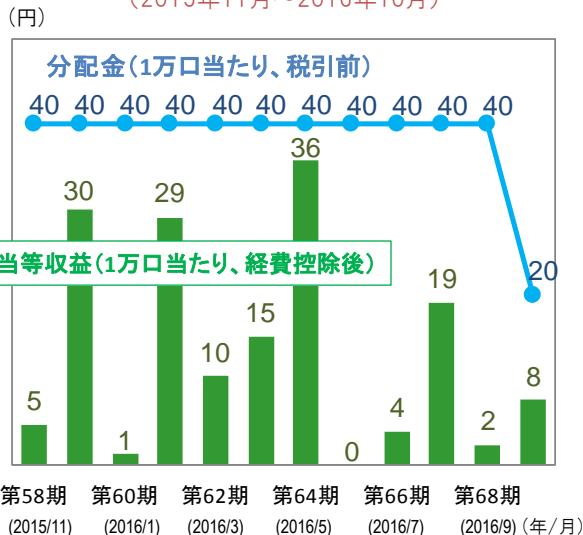
- 配当等収益が分配金を下回る状況が続いていること (左図)
- その結果、分配対象額が低下していること (右図)

2015年以降、エネルギー価格の下落やブラジルの政治的な混乱によりブラジル・レアル/円が30%以上のレアル安となったことを主な要因として、当ファンドの基準価額は6,000円台から一時2,000円台まで大幅に下落しました。2016年3月以降は、基準価額は上昇に転じましたが、依然として4,000円を下回る水準であり、配当等収益が分配金を下回る状態が続いています。

そのため、分配対象額の減少や当ファンドの基準価額の水準等を総合的に勘案し、安定的な分配の継続と信託財産の成長を目指すため、分配金を引き下げることと致しました。

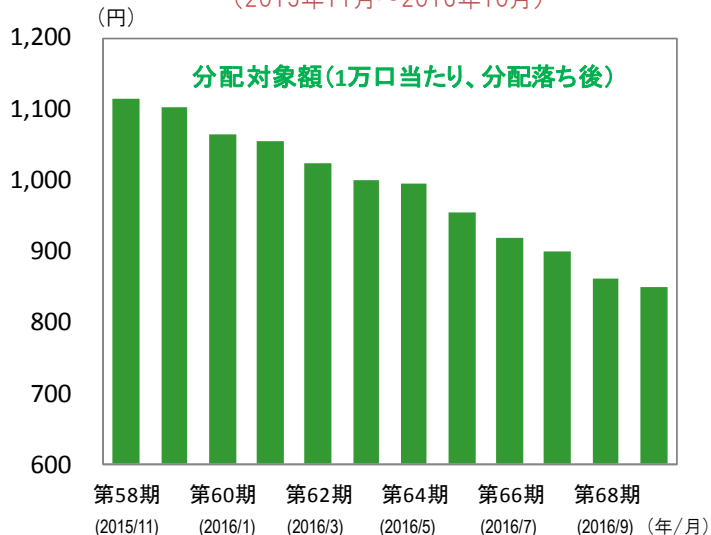
配当等収益および分配金の推移

(2015年11月～2016年10月)



分配対象額の推移

(2015年11月～2016年10月)



※上記グラフは、過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。
 ※運用状況によっては分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

Q2 ブラジルの投資環境における注目ポイントを教えてください。

A2 ブラジル中央銀行は10月18-19日（現地時間）の金融政策委員会において、政策金利の引き下げを決定しました。今後は財政健全化が金融緩和のカギを握ると考えられます。

ブラジル中央銀行は政策金利の引き下げを決定

ブラジル中央銀行は10月18-19日（現地時間）の金融政策委員会(COPOM)において、政策金利を0.25%引き下げ14.00%とする決定を下しました(左図)。利下げは2012年10月以来、4年ぶりとなります。

ブラジル中銀によると、足元の食品価格下落や財政健全化進展などによるインフレ環境の改善を利下げ判断の要因として挙げました。ブラジル中銀のインフレ見通し(基準シナリオ)では、インフレ率は2017年末には目標中心値(+4.5%)を下回る前年比+4.3%へ、2018年末には同+3.9%へ低下が予想されています。

財政健全化が今後の金融緩和のカギを握る

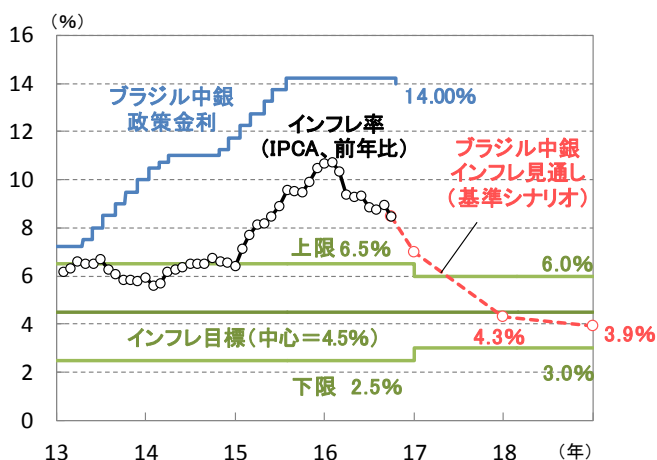
先行きの金融政策に関して、ブラジル中銀は「緩やかで段階的な金融緩和」を進めるとしながら、インフレ鈍化の行方や財政健全化審議を注視しつつ、今後の利下げの幅やペースを検討する方針を示しました。

ブラジル下院が10月10日に歳出上限法案を大差で可決したことで、今後の財政健全化法案の審議と実行が早期に進む公算が高まりつつあります。ブラジル中銀集計の市場コンセンサス(10月14日時点)では、政策金利は2016年末には13.50%へ、2017年末には11.00%へ引き下げられると予想されています。

金融緩和と物価安定が個人消費や投資を促進へ

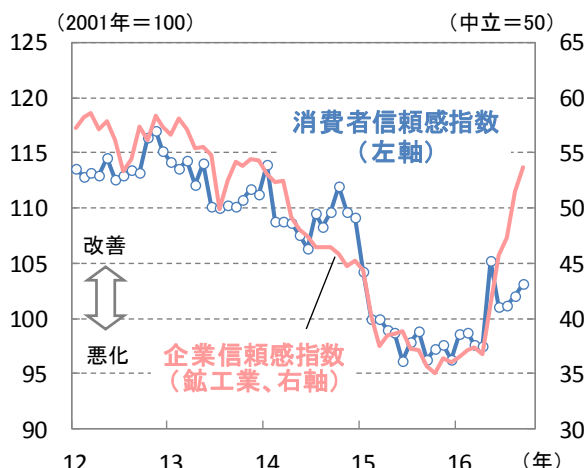
足元では、政権交代に伴う政策転換への期待やインフレ改善などを受けて、企業や消費者の信頼感が改善基調にあります(右図)。今後、財政政策の面では財政健全化のため引き締め型の施策が採られる可能性が高いものの、ブラジル中銀による金融緩和やインフレの安定化が個人消費や企業による設備投資を促すと考えられます。

ブラジル中銀の政策金利とインフレ率



(出所)ブラジル中銀、ブラジル地理統計院(IBGE)
 (期間)政策金利:2013年1月1日~2016年10月19日
 拡大消費者物価指数(IPCA):2013年1月~2016年9月
 ※基準シナリオは政策金利とリアル相場を一定と仮定した見通し。
 インフレ見通しは10月19日時点。

ブラジルの消費者・企業信頼感指数



(出所)ブラジル全国工業連盟
 (期間)2012年1月~2016年9月

Q3 ブラジル株式市場の注目ポイントを教えてください。

A3 ブラジルの実質GDPは、2017年にはプラス成長への転換が見込まれています。金融市場では、テメル政権による政策の進展が好感され、株価とリアル相場の持ち直し基調が続いています。

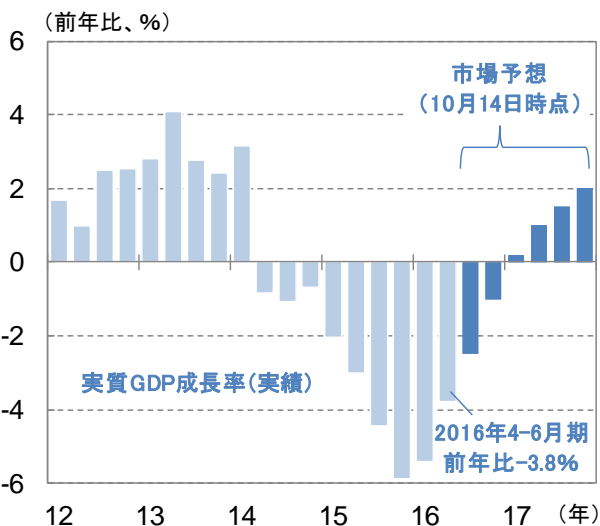
ブラジルの景気後退期も終盤に差し掛かる

足元のブラジル経済は、2014年からのマイナス成長が続いているものの、景気後退期は終盤に差し掛かりつつある模様です。市場コンセンサスによれば、実質GDP成長率は2016年下期にはマイナス幅が一段と縮小し、2017年にはプラス成長への転換が見込まれています(左図)。通年でのブラジルの実質GDP成長率は、2016年の-3.2%から2017年には+1.3%へ回復が予想されています。

金融市場はテメル政権の政策の進展を好感

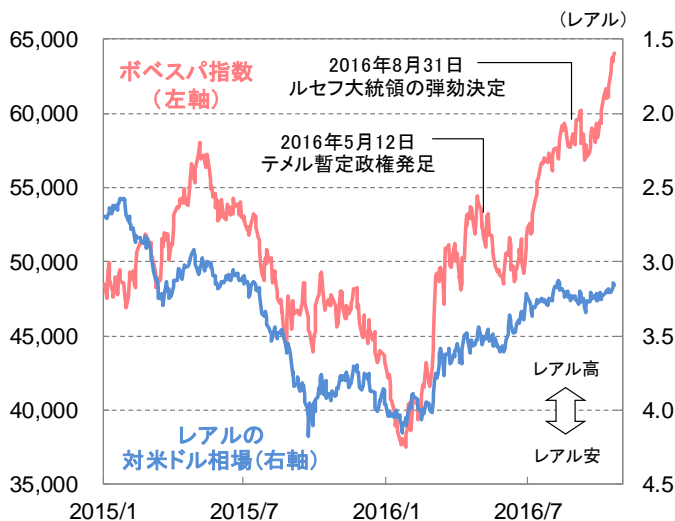
金融市場では、8月末のテメル政権の発足以降の政策の進展が好感され、株価とリアル相場の持ち直し基調が続いています(右図)。主要株価指数であるボベスパ指数は10月21日には64,108ポイントと2012年4月以来の高値へ上昇しました。一方、レアルの対米ドル相場は足元では1米ドル=3.15レアル前後へ緩やかに持ち直し、対円相場も1レアル=33円近辺まで上昇しました。

ブラジルの実質GDP成長率(実績と市場予想)



(出所)IBGE、ブラジル中銀
(期間)2012年1-3月期~2017年10-12月期

ブラジルの株価と為替相場の推移



(出所)ブルームバーグ
(期間)2015年1月1日~2016年10月21日

【お申込みメモ】

ファンド名	LM・ブラジル高配当株ファンド(毎月分配型)
購入単位	販売会社が定める単位
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として6営業日目からお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに受付けたものを当日の申込受付分とします。
購入・換金の申込受付不可日	サンパウロ証券取引所、サンパウロの銀行またはニューヨークの銀行の休業日の場合には、購入・換金申込は受け付けません。
信託期間	平成33年1月25日まで(平成23年1月24日設定) 信託期間は延長することがあります。
決算日	毎月23日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、配分方針に基づき分配を行います。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度および未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除及び益金不算入制度の適用はありません。 ※税法等が改正された場合には、内容が変更になることがあります。

【ファンドの費用】

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	申込金額(購入申込受付日の翌営業日の基準価額に申込口数を乗じて得た額)に、 3.78%(税抜3.50%) を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。
信託財産留保額	ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	純資産総額に対し 年率1.9116%(税抜1.77%) ※運用管理費用(信託報酬)は毎日計上され、毎決算時または償還時に当ファンドの信託財産から支払われます。
その他の費用・手数料	売買委託手数料、保管費用、信託事務の処理に要する諸費用、信託財産に関する租税、その他諸費用(監査費用、印刷等費用、受益権の管理事務費用等。)等を信託財産から支払います。 その他諸費用は毎日計上され毎決算時または償還時に、日々の純資産総額に年率0.05%を乗じて得た金額の合計額を上限として委託会社が算出する金額が、その他については原則として発生時に実費が、信託財産から支払われます。 ＜ブラジルにおける金融取引税＞ 非居住者のブラジル国内株式投資に伴い、ブラジル・リアルを取得する為替取引に対して課される金融取引税(レポート作成基準日現在0%)はマザーファンドから支弁され、間接的に当ファンドの全受益者の負担となります。 (金融取引税の課税の有無、税率等は、ブラジルの税制変更に伴い変更される場合があります。) ※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を表示することができません。
購入申込取扱場所	取扱販売会社までお問合せください。

※投資者の皆さまにご負担いただく手数料等の合計額については、当ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

【委託会社、その他の関係法人の概況】

委託会社	レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社	ウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・ディーティープイエム・リミターダ (在ブラジル)
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
取扱販売会社の照会先	レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社 http://www.leggmason.co.jp (03)5219-5943

【販売会社】

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	日本商品先物取引協会
三菱UFJモルガン・スタンレーPB証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第180号	○	○			
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第15号	○		○		
高木証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第20号	○				
ソニー銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第578号	○		○		
株式会社福岡銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第7号	○		○		
株式会社熊本銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第6号	○				
株式会社親和銀行	登録金融機関	福岡財務支局長(登金)第3号	○				
株式会社東北銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第8号	○				
株式会社新生銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○		
株式会社大垣共立銀行(ネット専用)	登録金融機関	東海財務局長(登金)第3号	○		○		
SMBCFレンド証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第40号	○			○	
株式会社北海道銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第1号	○		○		
株式会社京葉銀行(ネット専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第56号	○				
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号	○				
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○	○

当ファンドについてのご注意事項

投資元本を割り込むことがあります。

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資を行いますので基準価額は変動します。また、実質的に外貨建資産に投資を行いますので、為替の変動による影響を受けます。
- 投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 当ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

基準価額を変動させるいろいろなリスクがあります。

- 当ファンドの基準価額を変動させる要因としては、「カントリーリスク」、「株価変動リスク」や「為替変動リスク」などがありますが、基準価額の変動要因はこれらに限定されるものではありません。ファンドのリスクについては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

分配金が支払われないことがあります。

- 分配対象額が少額等の場合には、分配を行わないことがあります。
- その他重要な事項に関しては、投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されていますので、よくお読みください。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりりが小さかった場合も同様です。

本資料をご覧いただく上での留意事項

- 投資信託は預金ではなく、預金保険制度の対象ではありません。
- 投資信託は金融機関の預貯金とは異なり、元本及び利息の支払いの保証はありません。
- 証券会社以外で投資信託をご購入された場合は、投資者保護基金の支払いの対象にはなりません。
- 当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。
- 当資料は、当社が各種データに基づいて作成したのですが、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。
- 当資料に記載された運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。
- この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。
- 当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 投資信託は値動きのある証券(外国証券には為替リスクもあります)に投資しますので、組入証券の価格の下落や、組入証券の発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により、損失を被ることがあります。したがって、投資元金は保証されているものではなく、投資元金が割り込むことがあります。基準価額の変動要因となるリスクの詳細は投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。
- 投資資産の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様に帰属します。過去の運用実績は将来の運用成果等を保証するものではありません。
- 投資信託に係る申込手数料は販売会社にご確認ください。
- 投資信託の運用に係る信託報酬その他の費用等の詳細は投資信託説明書(交付目論見書)の「手続・手数料等」をご覧ください。
- 投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しいたしますので、必ず内容を十分ご確認のうえご自身で判断ください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)は、取扱販売会社の窓口にご請求ください。

投資信託の取得のお申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)等の内容をよくお読みください。

設定・運用は

レッグ・メイソン・アセット・マネジメント

商号:レッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会